

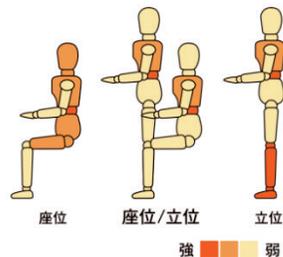
「立ったり、座ったり」を繰り返すことで、健康状態にも、仕事への集中力にも、プラスの効果。
株式会社 岡村製作所と公益財団法人 労働科学研究所の実験によって新たな事実が明らかになりました。



検証 01

姿勢による疲労度 で比べてみました。

パソコン作業中に立ったり座ったり、を定期的に繰り返した実験参加者は、もっとも疲労を感じなかったという数値が出ています。ポジションを定期的に変えることが、負荷分散という視点から見て、疲れにくいという結果です。



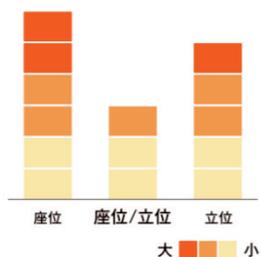
結果

立ち仕事×座り仕事が、もっとも疲れにくい

検証 02

むくみの増加量 で比べてみました。

作業の前後でふくらはぎの周囲を測ったところ、「立ち仕事だけ」「座り仕事だけ」と比較して、双方を定期的に繰り返した実験参加者は、周囲の増加量をもっとも少なかったという結果が出ました。むくみにも、ポジションチェンジは有効だと言えます。



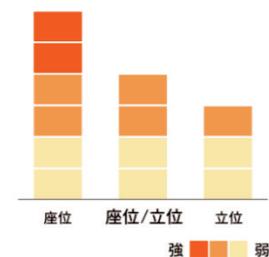
結果

立ったり座ったりを繰り返すと、足がむくみにくい

検証 03

眠気の増減 で比べてみました。

集中力と眠気は、密接な関係。実験の結果、「立ち/座り」を繰り返した場合と、「立ち仕事」のみを続けた場合とでは、眠気の度合いがほぼ同じ程度に留まることがわかりました。「座り仕事」のみを続けるよりも、集中できるものと考えられます。



結果

ポジションチェンジで、眠気が抑えられる傾向に

Swift 上下昇降デスク [スイフト]

okamura

随所に、スイフトだけのオリジナル機能。上下昇降デスクの使い勝手を考え抜いたディテール。

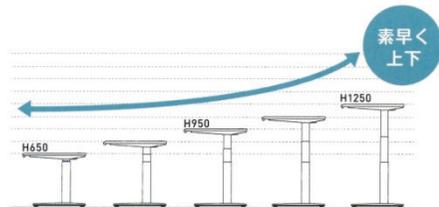


Stroke

上下昇降 (H650~1250mm)

スピーディに、静かに、そして自在に。
なめらかな上下の動きでワーカーをサポート。

初速はゆっくり、その後スピードアップ。デスクの高さはボタンひとつで自在に設定が可能。好みの場所で、どこでも止められます。高さを上げる時には1250mmまで一気に動作。下げる時には720mmまで一度止まり、650mm(テーブルでは700mm)までゆっくり下がります。動作時の静音性にも配慮しています。



※テーブルの上下昇降は700~1250mmです



Design

スムーズフォルムエッジ

腕への負荷を軽減する天板エッジの曲線仕上げ。
立った時も座っても、心地よさが続くデザイン。

立った際に寄りかかれるよう、天板のトップエッジはなめらかな曲線形状を採用しています。PC作業や執筆作業など、あらゆるワークシーンを想定したデザインです。座った姿勢でもいままでないフィット感と心地よさ。腕への負担が少ないデザインです。



座った姿勢でPC操作をしても、腕への不快な当たりを感じません。

立ったまま腕で体重を支えても、エッジがなめらかなので快適です。



Safety

セーフティリバース

何かが挟まってもすぐに感知。
自動安全装置を標準装備。

上下昇降の動作中に障害物にぶつかった際、異常電圧を感知し動作をストップ。すぐに約3cm戻る安全装置を標準搭載しています。さらにSwiftは待機電力0.1wという省電力、3万ストロークまで想定した長寿命設計。安心安全が長く続きます。



天板が何かにぶつかったと、瞬時に感知し、動作をストップします。

その後、安全のため約3cm上昇し、挟み込みを防止します。



Option

専用オプション

安全性をより高めるプラスαの対策。
上下に動くデスクだからこそこの配慮を。

上下昇降が自在にできるからこそ、配慮したいのがPCディスプレイ等の転倒と、ケーブルの保護対策。ディスプレイを固定するビーム、ケーブルを整理できる専用ワイヤリングダクトなど、Swiftならではのオプションも充実しています。



煩雑になりがちなケーブル類は、トラブル回避のため、専用ワイヤリングダクトで整理できます。

ビームにはタスクライトやディスプレイも設置可能。天板にしっかり固定できるため、安全です。